

ACT Japan 年次ミーティング 2023 における 事業創出等に寄与する個人ビジョン明確化手法と そのシステム化についての発表概要



1. ビジョン概要

イノベーション推進本部のデザイン・ラボ第一グループでは現在、事業創出やその人らしい働き方の実現に寄与する個人ビジョンに着目しています。ここでいうビジョンは、何の制約もない状態でのありたい姿と定義していますが、その個人ビジョンを明確化することで、自身のありたい姿に従ったその人らしい進むべき方向や、取り組むべき対象が明確になります。その効果としては、その人らしい独自性のある事業創出を進められたり、企業ではより自発的な取り組みを促進したり、また組織ビジョンとの整合を行いその人のしたいことと組織のしてもらいたいことを一致させることで、より高いパフォーマンスを発揮できたりすることなどが期待されます。ただし、数あるビジョン明確化の手法から自分に合った方

法を見つけるのは容易ではなく、自己分析や内省が得意でない・時間がかかる方もおられることから、個人ビジョンを1人で作るのは難しい側面があります。

2. ビジョン明確化手法とその効果

当グループでは、ビジョンを明確化するいくつかの手法を実際に試し、短時間である程度じっくりくるビジョンが生成できる手法を他の方にも適用することで、その効果を検証してきました。その手法は、株式会社ロードフロンティアの並木将央氏が提唱しているビジョン明確化手法で、まずビジョンのもととなる価値観を定める際に、価値観を表す単語（例えば愛、決意、共感、創造性など）が記載されたカードを利用します。「あなたがしたいことは何か？好きなことは何か？」と問う代わりに、大切にしている価値観を選び、その単語からビジョンを作成するという流れになります。カードに記載された価値観を選ぶ際は、意味

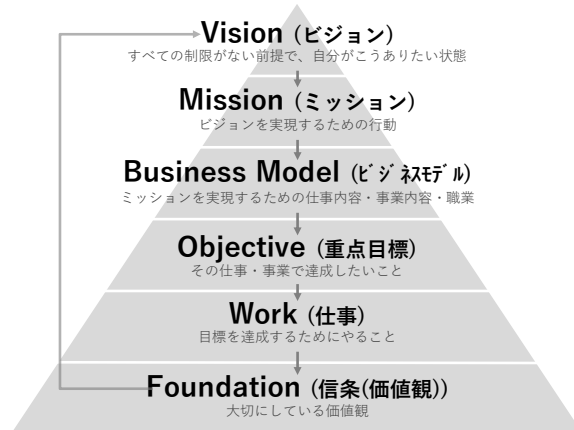


図1 ビジョン戦略ピラミッド

を深読みするのではなく直感的に感じて選び、さらに「私は～である」という定型文に、自分の価値観の単語を利用して文章化することで、誰でも短時間で価値観とビジョンを決めることができます。さらにビジョンを実現するための行動（ミッション）や、現実世界での仕事や重点目標なども決め、上下間の整合性を確認することで、無理のない、かつ腹落ち感のある内容にすることができます(図1)。

本発表では、本手法のより詳しい内容や、15名の方へ試行した結果として全員平均1時間前後でビジョンを明確化できた点、また今後、ビジョン明確化手法を1人で効率的かつ効果的に実施できるようにシステム化した際のイメージなども提示しました。本手法は、心理療法の1つであるACT（Acceptance and Commitment Therapy）と共通する点があり、臨床心理学がご専門の筑波大学の菅原大地先生のご意見も参考にさせていただきました。

3. 発表時にいただいたご意見と考察

発表時は、以下のようなご意見を伺いました。

- ◆ 事業創出や研究部門だけでなく、学生(就活)や病院の患者さんの意思確認などにも使えそう。
- ◆ こういったACT的な(単語を具体的に選んで価値観を決めるような)ものは、あまり

これまで IT 化されていなかった気がするので、ぜひ進めて欲しい。

- ◆ ACT の価値(ビジョン)を明確化しても動く人と動かない人がいる。自分のやるべきことを認識していても、現状どうにかなっている人には、あまり効果がないのではないかな。

1 点目に関しましては、ビジョン明確化が今回挙げたターゲット以外にも幅広く利用できそうというご意見ですが、まさにおっしゃるとおりで、事業創出等以外の自分の方向性を決めるシーンにおいても、本手法が活用できるのではと考えています。さらに、地域の個人のビジョンをもとに、地域全体のビジョンが明確化すれば、前述のような地域の社会課題解決のために目指すべき最適解が導ける可能性もあります。そういった地域や、会社の組織に所属する多くの人を対象にビジョン明確化を行う際にも、効率的に実施できる IT 化を進めていく必要を感じています(2 点目のご意見)。

3 点目については、今回のビジョン明確化の試行実験でも、作成当初はビジョンがしっくりこない方や、また作成してもなかなか行動に移せない方などが若干おられ、定量的には計測していないものの、効果に個人差がある点は認識しておりました。ビジョンや価値は、自分のありたい姿(Will)であるという前提からすると、行動に移せないということは作成したビジョンは、真のビジョンからずれているということになります。一方で、真のビジョンをはじめから短時間で明確にするのも、難しいと考えております。そこで、できるだけ真に近いビジョンを生成できるよう IT で支援することを目指して、今後、全体のシステム化とあわせて検討していきたいと思っています。

なお、ビジョンや価値は、自分がしなければならないこと(Must)とは異なる点にも留意する必要があります。3 点目後半のご意見は、やるべきことが自分の価値に沿っていない、もしくはやらなくても十分に価値に沿っているという状況と思われます。ビジョンは、自分の Will を明確にして自然とそこを目指す行動を生じさせるので、ビジョンに沿っていないようなやりたくないことをやりたくさせる作用はなく、逆に言えば、ビジョンに沿わせれば、自然と行動を起こすようになるかもしれません。

4. 最後に

本発表を通じて、いただいたご意見をもとに改良したシステムを構築していき、多くの方に利用していただいて、その人らしい働き方の実現や、独自性のある事業創出に寄与できればと感じました。

なお、個人ビジョンと組織ビジョンとの整合も有用である点は記載しましたが、同学会で同グループの富木による、組織・個人ビジョンの整合についても発表されましたので、そちらのブログ記事もあわせてご確認いただければ幸いです。